

VOL.24 2025年 秋号



すべてのお客さまを
元気に！

株式会社 豊総合保険事務所
YUTAKA INSURANCE OFFICE CO.,LTD

「元気」のラブレター



2020年より大切なお客さま、関係者さまへのニュースレターを始めました。

私たち、豊総合保険事務所では、「すべてのお客さまを元気に！」をモットーとし、スタッフ全員で日本一元気な保険屋さんを目指しています。保険は、万が一の時に役に立つモノと言われていますが、もしその万が一が起ってしまった時にお客さまと最初にコンタクトを取り、寄り添い、元気になってもらう事が私達の最も大切な仕事だと考えています。これからもお客さまの立場に立ち、お客さまにとって一番のサービスをご提案していきたいと思ひます。



本当に暑かった夏もようやく終わりを迎え、少し秋めいてまいりました。皆様には日頃より格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は残暑が長く、秋を感じる間もなく冬を迎えましたが、今年は猛暑の後に気温も下がり、過ごしやすくなったおかげで、ようやく秋の訪れを実感しております。

「天高く馬肥ゆる秋」ということわざの通り、秋の空が澄み渡り高く感じられ、馬が食欲を増して肥えるように、心身ともに快適に過ごせる素晴らしい季節となりました。私たちも日々の業務に励みながら、秋の味覚を楽しみつつ、充実した時間を過ごしております。

また、「秋の日は鶴瓶落とす」ということわざのように、秋は日暮れが早くなります。夕方の自動車事故も増える時期ですので、ヘッドライトの早めの点灯を心がけ、安全運転に努めてまいりましょう。

今年も残すところ2か月となり、あっという間に年末が近づいてまいりました。スタッフ一同、気を引き締めて全力で取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 田中豊己



なぎさベーカリー

秋の新作パン

国産小麦の
角切り食パン

練乳みるくパン

パンプキングラタン

沖縄産ポークソーセージ



「姿勢ひとつで安全が変わる」——疲れにくい運転姿勢が事故を防ぐ

運転中の事故の原因として、よく挙げられるのは「注意力の低下」や「判断ミス」。その背景には、意外にも「運転姿勢」が深く関係していることをご存じでしょうか。正しい姿勢は、身体の疲労を軽減し、集中力を持続させる鍵。つまり、事故防止の第一歩なのです。シート調整方法の一例(図2)を紹介します。

- ① シートに深く座り、座面の高さを前方死角が小さくなるように調整します
- ② シートの前後位置を、ブレーキペダルを強く踏み込んだときに足が伸び切らず余裕がでるような位置に調整します
- ③ 背もたれの角度を、ハンドルの頂点を握ったときでも肘が伸び切らないような角度に調整します



図2. シート調整の一例

調整後、シートは身体の一部だけではなく全体を優しく支えていますか。また太ももが座面に当たらず、安定して座れていますか。もしそうになっていない場合は、一部の筋肉が緊張しやすい、またはシートにより体の一部が圧迫されて疲れやすい状態かも知れません。座り直したり、シート高さや前後位置を微調整したりしてみましょう。ランバーサポート(腰当て)クッションの利用も考えられます。第三腰椎(図3)付近にクッションをあてることで疲労軽減効果が高いとする報告もあります。ご自身のベストな運転姿勢・シート位置を探してみてくださいはいかがでしょうか。

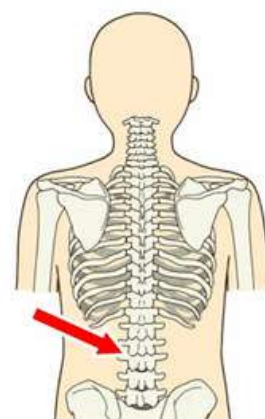


図3. 第三腰椎の位置

「噛む」ことの効用

単調な運転で集中力が途切れがちなとき、ガムを噛むことで注意力が高まり、反応速度が向上する効果があるとされています。実験では、速度超過や車線逸脱も減少したとの報告も。適度に取り入れれば、気分転換の手段として有効です。



お問い合わせはこちらへ

YUTAKA INSURANCE OFFICE CO.,LTD

〒594-0031 大阪府和泉市伏屋町5丁目9-10-101

TEL: 0725-56-8800 FAX: 0725-56-8588

営業時間: 平日10:00~18:00



ホームページ



@YUTAKA_INSURANCE_OFFICE